

安心の設計

介護、医療、子育て、
るご意見・疑問をお寄
メールansin@yomiuri
ファックス03・3217・99

◆介護の必要性が低いうちから入居できる主な施設

特徴	有料老人ホーム		一般的な賃貸住宅に近い
	介護付き	住宅型	
職員が常駐	食事提供など生活支援が中心		
介護サービス	職員が行う	事業者を選んで利用する	

介護を受けながら暮らす選択肢の一つが「有料老人ホーム」です。2020年時点でも全国に約56万床あります。有料老人ホームは大きく2種類。「介護付き」は職員が常駐し、24時間体制で介護サービスを受けられます。「住宅型」は入居者が必要に応じて介護事業者と契約します。

介護のキホン 11 有料老人ホーム



ボールを使って体操をする
「SOMPOケア ラヴィー」
「光が丘公園」の利用者ら

「介護付き」と「住宅型」費用に幅

午前中に近隣を散歩するのが日課で、昼食後には体操や書道、水彩画といったレクリエーションが行われます。ホーム長の宮本和成さん(37)は「生活のメリハリがつくよう心がけています」と話します。

有料老人ホームの契約は、「施設での居住と、介護や生活支援などのサービスを受けられる権利」を一体的に結ぶのが一般的です。家賃や管理費、食費などが月々の費用として必要で、「介護付き」で月10万円~50万円程度、「住宅型」は月10万円~30万円程度。設備の充実度や立地などで、かなり幅があるようです。

一時金として、入居時に、数年分の家賃などの支払いが必要なケースもあります。このほか、「介護付き」は、

定額の介護費がかかります。東京23区内の施設で自己負担が1割だと、要介護1で月1万7593円、要介護5では2万6389円。職員の配置が手厚い施設など、追加の負担が生じる場合もあります。

「住宅型」は、契約した介護サービスに応じて1~3割の自己負担分を支払います。

入居できます。ただ、多くのを選んで契約します。施設があり、どれを選ぶかは難しい問題です。公益社団法人全国有料老人ホーム協会(東京)の担当者は「費用や賃貸借契約を結ぶケースが多く、敷金も必要です。費用は家賃、管理費、基本サービス料で月5万~25万円程度。ほかに、食事代が月4万~6万円かかるのが一般的です。有料老人ホームやサ高住は、介護の必要性が低いうちからが大切です」と助言します。
*次回は11月9日に掲載予定です。

有料老人ホーム以外にも、バリアフリー構造の賃貸住宅「サービス付き高齢者向け住宅」(サ高住)が約27万戸あります。安否確認と生活相談が基本サービスで、ほとんどは食事の提供もしています。サ高住は、「介護サービス付き」ではない点に注意が必要です。「住宅型」の有料老人ホームと同様に、必要な